

△産業宣教/自殺予防専門家主管 産業人の現住所(創 13:18)	△レムナント伝道学 レムナントの祈りの現住所(使 19:8)	△核心/ 重職者大学院連合礼拝 伝道弟子の祈りの現住所(ピリ 4:13)	△散らされた弟子たち 散らされた弟子たちの祈りの現住所
<p>□序論 自殺予防</p> <p>1. なぜ?-自殺は霊的問題</p> <p>2. 病気-心、考えが病気になること。長い間続いたこと</p> <p>3. 助け-本当の原因は「霊的現住所」がないこと。3つのシステムを利用して霊的現住所だけ見つけることができれば良い。間違った刻印を変えてあげなければならない。</p> <p>1) 24 システム 2) 25 システム(いやされること)</p> <p>3) 永遠システム(刻印、根、体質を変えてあげることができるシステム)</p> <p>□本論_三つの体験で霊的現住所を見つけること</p> <p>1. 過去体験(確認)- 「これではない」確認。神様のみことばが入れば創造の働き</p>	<p>△パウロは答えを持って福音が実際の力になって、祈りになるように伝えた。</p> <p>□序論 始まり、試み、挑戦→霊的システム</p> <p>レムナントはひとまず祈りを始めなさい。うまくできないだろうが、再び試みて挑戦して、霊的システムが作られる時までしなさい。これが始まりだ。</p> <p>□結論_ 24、25、永遠(サミットシステム)</p> <p>霊的システムが作られれば、結局、どこでも祈りが成り立つようになる 24、どこへ行っても答えが見えて答えが来る神の国 25、私たちの働きが永遠の作品になる永遠の答えが来る。</p> <p>□本論</p> <p>1. 創 37:11 ヨセフは最も難しいとき</p> <p>2. 出 3:18-20 モーセは 80 歳で</p> <p>3. 1 サム 3:19 サムエルは幼いとき</p> <p>4. 1 サム 16:13 ダビデも幼いとき</p> <p>5. Ⅱ列 2:9-11 エリシャは初めから</p> <p>6. ダニ 1:8-9 イサヤのメッセージを聞いて決断</p> <p>7. 使 17:1 キリストの当為性と必要性説明</p> <p>8. 使 18:4 「安息日ごとに」礼拝の重要性を説明</p> <p>9. 使 19:8 「3か月の間」神の国のことについて説明</p> <p>△レムナント7人は、自分が直面した状況で霊的システムと霊的サミットシステムになった人たちだ。その間に、どんなことが起こっても大丈夫だ。待つて味わいながらしなさい。</p> <p>△レムナントのときは、より良い機会だ。レムナントが受ける答えは想像できないので、今、答えがなくても良い。このように大きな働きを神様が成し遂げられるだろう。</p>	<p>□序論</p> <p>1. 重職者時代- 12使徒(12弟子)、70弟子70長老</p> <p>本当の答えは現場にすべて入っている。70の影響を与えるほど、祝福が与えられているが、器準備をしていない</p> <p>2. 重大院-世界唯一の学校</p> <p>みなさんのゆえに牧師が力を出して伝道できるならば、それ自体が祝福</p> <p>3. 答え- Homeless-霊的現住所</p> <p>答えを受けることができない人々は、霊的現住所がないのだ。みなさんの霊的な家、霊的現住所がどこかによって、すべてが左右される。</p> <p>□本論_霊的現住所</p> <p>1. キリストの中で「理由」</p> <p>1) 理由のない生活(答え)-すべての問題を答えとして見る。神様のみこころ、神様のみことばならアーメンすれば勝つのだ。</p> <p>2) 理由ある祈り(私)-私を主張する祈りでなく神様が私に与えられた祈り</p> <p>3) 異なる理由の使命(私のこと)-神様が私にだけ与えられたこと、使命、異なる理由がある。</p> <p>2. キリストの中で「祈り」</p> <p>1) ヨハ 19:30 キリストが完了された。 使 1:3 神の国がみなさんに臨むことを言われた。 使 2:1-13 その力を信じて祈り→聖霊に満たされる働き</p> <p>2) 7大旅程(定刻祈り)-私の現住所。定刻祈りのとき確認してみなさい。</p> <p>3) 現場(常時祈り) 4) 礼拝祈り</p> <p>5) 世界を変える集中祈り→一つの課題を持って集中的に祈り</p> <p>3. キリストの中「現場」</p> <p>1) ピリ 1:12-14 パウロ-監獄を最高の現場として</p> <p>2) ピリ 3:1-21 パウロの現場、現住所</p> <p>3) ピリ 4:13、19 強くしてくださいる方において、必要なすべてを満たしてください。</p> <p>△みことばだけ正確に握っても、答えは来ている。神の国は成り立つ。祈れば聖霊が臨んで、サタンが縛られる。天の軍勢、御使いが動員される。その後には本当の答えが来る。</p> <p>□結論_ 70影響が基準-70弟子、70現場の答えを受けて70種族、70の国に影響を与えること</p> <p>教会で受けなければならない答え-これで編集、設計、デザインするのが祈り</p> <p>1. 人の話の代わりに神様のみことばを握りなさい。</p> <p>2. 私たちが持っている思想でなく、神の子ども</p> <p>3. ただ、唯一性、再創造が私たちの答え-教会の中に私の考え、理念があってはならない。</p> <p>△福音の三つの庭がある教会。福音の見張り場(やぐら)があって、プラットフォームになって、人を守る見張り台になり、アンテナになる教会。この祈りをしなさい。</p>	<p>「ただ発見(1)、唯一性見える(3)、再創造ついでくる(8)」</p> <p>みなさんの現住所はどこか。ずっと質問しているならば、ただ発見、唯一性が見えて、再創造がついてくる</p> <p>□序論</p> <p>1. マルコの屋上の間の人々</p> <p>2. アンテオケの人々</p> <p>3. ロマ 16 章の人々</p> <p>これ(ただ発見、唯一性見える、再創造ついでくる)した人々、まだ出てきていない</p> <p>□本論_持っていること</p> <p>1. 使 1:14 始まり</p> <p>この人々が持っていたのは使徒 1 章 14 節の始まり</p> <p>1) カルバリの丘 2) オリーブ山</p> <p>3) マルコの屋上の間</p> <p>△この人々はカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間を持っていた</p> <p>2. 使 6:1-7 過程</p> <p>1) みことば+祈り=専念 教会と重職者は、牧師がみことば祈りにだけ専念するように助けるべき</p> <p>2) 満たし これをするために、信仰の満たし、知恵の満たし、聖霊の満しを受けた人を立てた</p> <p>3) 誰も x 誰もできないことを、その道を行く</p> <p>3. 結果</p> <p>1) 使 13:5-12 2) 使 16:16-18</p> <p>3) 使 19:8-20</p> <p>△このようにして、誰もいやすことができないことをいやした</p> <p>□結論_ 聖書</p> <p>今、聖書にあることが現実と合うのを発見すべきだ。なぜマルコの屋上の間に隠れてしたのか、迫害が基準であることは、それだけ力があったこと。公に現わさなくても、人に認められなくても良い。力があるため</p>
<p>脳 考え 心-脳に問題が来て、考え、心がダメだ。</p> <p>みことば・祈り(呼吸)-脳を生かすことができる道は呼吸。私が安らかになってこそ、みことばも聞いて、祈りも可能</p> <p>1) 創 11:1-8 バベルの塔が崩れる事故現場を見たアブラハムの不安と危機意識</p> <p>2) 創 12:1-3 神様が決断するようにさせた。みことばが入って行くように変えてあげるべき</p> <p>3) 創 13:1-13 環境による苦しみ</p> <p>4) 創 13:14-17 アブラハムの決断</p> <p>2. 現在体験-今日</p>			
<p>祈り-霊とたましいのいやし</p>			
<p>霊とたましい-神様のみことばは霊とたましい、骨髄を刺し通して治療、安らかで静かな時間</p>			
<p>刻印、根、体質 変えて霊とたましいに正しいことを植える作業</p>			
<p>1) 創 13:18 祭壇を築き始め</p> <p>2) 創 14:1-20 不安、嘘をついたアブラハムでなく、ソドムと戦って勝った</p> <p>3) 創 22:1-19 これを子どもに刻印</p>			
<p>3. 未来体験</p>			
<p>未来-ものすごい未来を握ったこと</p>			
<p>希望-これをすれば良いという希望が見えること</p>			
<p>いやし-ともにいやしが起こる。ともに祈って、聖霊の満しを受けたペテロに力が生じた。</p>			
<p>1) 創 26:12 イサクに 100 倍の祝福</p> <p>2) 泉-アブラハムに与えられた泉</p> <p>3) 根源-イサクに泉の根源を 4) レホボテの祝福</p>			
<p>□結論</p>			
<p>1. カウンセリング(助け)-福音を持っている人のカウンセリングは多くの助けになるため、みなさんの霊的現住所が重要。これ(本論 1 番)を育てるべき。</p>			
<p>2. 24-一人で入ることができる メディア 必要</p>			
<p>3. 25(教会)-初代教会に起こった 教会(化)</p>			
<p>教会にきて静かに祈りできるシステム、力を得ることができる資料が必要</p> <p>△はやく治そうとせずに根本的に治さなければならない。呼吸して、いやしを正しくすれば、根本的にいやされ始める。</p>			

△区域メッセージ 見張り人運動と私の 24(イザ 62:6-12)	△聖日 1 部礼拝 小さいことに忠実な者(ルカ 16:1-13)	△聖日 2 部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝 誰がより良いのか(ルカ 16:19-31)
<div data-bbox="112 223 268 414" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">  </div> <p>見張り場(やぐら) → ダビデは 1 千の見張り場(やぐら)を作った。 △イスラエルが見張り場(やぐら)を作ったのを見て来た。それゆえ、プラットフォームだ。見張り人が見張り台でプラットフォームになるように守って、その中に連絡ができるアンテナがある。神様は霊的に私たちを見張り人として呼ばれた。</p> <p>□序論_見張り人(24) 私たちがこの祝福を持って、守らなければならないので 24 だ。それゆえ、神様は昼の間も夜の間も、答えてくださるしかない。イザヤが最も難しい時に神様が絶対計画を説明された中で「見張り人 24」を言われた。</p> <p>□本論</p> <p>1. 契約と時刻表 神様はイザヤに契約と時刻表を与えられた。私たちがメッセージをよく整理して礼拝をささげれば、答えを受けることに忙しいだろう。それが重要な基準だ。 1) 御座の祝福(イザ 6:1-13) - 神様はイザヤに御座の祝福を味わうようにされた。これに関心なく時間が過ぎれば霊的力が抜ける。 2) 切り株 - 「切り株」という契約の時刻表を見ればよい。 3) 光-回復-イザヤ 60 章に光として回復することを説明された。私たちの労苦は小さいことのように見えるが、切り株が出てくるのは誰も止めることはできない。</p> <p>2. 使命、勝利、目標 見張り人の使命、勝利、目標が何か教えてくださった。 1) 昼も夜も-見張り人の使命は昼も夜も神様の動きを起こされる。見張り人の特徴が、昼夜がない。神様は昼夜に私たちに答えられる。 2) 道-見張り人の勝利は多くの民が帰ってくるように、道を作って道を照らすことだ。 3) すべての民-旗-目標は「すべての民が旗を掲げて」</p> <p>3. 見張り人-私たちはどんな見張り人になるべきなのか 1) 福音(イザ 7:14) - 福音を回復して味わって伝達する見張り人 2) 祈り(イザ 62:6-12) - 私と教会と現場を守る祈りの見張り人 3) 237-5000 - 現場で 237、5000 種族に向かって光を放つこと</p> <p>□結論 「私たちはどんな神殿を作らなければならないのか」 1. 三つの庭-三つの庭が必ずなければならない。 2. 237、いやし、サミット-この庭に 237 多民族といやされる人、レムナントが集まるように準備 3. 24、25、永遠-多民族が来て 24 して、霊的に苦しんでいる人、病んでいる人が来て 24 恵み受けることができ、レムナントが来て安らかに休んで、見て学べるようにすれば神の国「25」の答えがきて「永遠」という作品が出てくる。</p>	<p>□序論</p> <p>1. イエス様の比喩-金持ちと管理人 1) 大金持ちの下で仕事をしていた管理人の良くない噂を聞いて、もうやめなさいと命じた 2) 管理人が悩む、金持ちとお金の取り引きをした相手を呼んで借金を減らす 3) この事を見た金持ちが感動を受けて、知恵ある者だとほめる</p> <p>2. 強奪国家ローマ 1) 全国掌握-ローマの市民権さえあれば罪を犯しても捕まえて行かない 2) ローマ偶像、神像-霊的に完全に殺す 3) 金持ち-ローマと通じる人は神様も必要なくて、列によく並べば良いと考える。死にゆく者の代弁者だ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 大きい苦しみの中で答えを出す前に、霊的な力をまず受けるべき 1) ほとんど、くやしいことにあつたり追われたり滅びたり死ぬことになったとき 落胆したり必死に戦って問題を起す。 2) 重要なことができるように霊的な力を先に受ける 私が本当に霊的な力を受ければ判断が変わる。 (1) ヨセフ (2) ダビデ (3) ヘブ 11 章の人々、初代教会、ローマ 16 章の重職者</p> <p>2. 霊的な力を受けるので、生かす霊的知恵が出てくる。 1) 普通は、問題がくれば殺す思いが出てくる-「復讐しなければならぬ。殺さなければならない」それが滅びることだ。 2) 難しい主人に感動を与える知恵 3) 人を生かす知恵-主人に借りた者を生かす 4) 自分自身を生かす知恵-困難にあうとき、他の人を生かしてこそ、私も生かされる</p> <p>3. このとき、神様のみことばが来始める 1) ルカ 16:10 「小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。」 - 人を生かすことは、小さいことのようにだが神様に用いられる 2) ルカ 16:9 「不正の富で、自分のために友をつくりなさい(・・・) 彼らはあなたがたを、永遠の住まいに迎えるのです。」 - 苦しんでいる人を心より助ければ、その人は永遠に忘れることができない。ローマと金持ちに制せられて苦労している人々をそのまま置いておいて良いのだろうか</p> <p>□結論_聖書の歴史、教会史の二種類の人 1. モーセとイテロ-殺人者モーセを婿として人を生かしたイテロ 2. ラハブと斥候-斥候を助けたラハブ 3. ダビデとアヒメレク祭司-法ではなく生かす選択した祭司 4. イエス様とアリマタヤのヨセフ-イエス様を葬る選択したアリマタヤのヨセフ 5. パウロとローマ 16 章の人々-パウロをいのちをかけて助けた重職者 6. マルチン・ルターと重職者-ルターを生かした重職者</p>	<p>1 部礼拝みことば-霊的な力があれば霊的知恵が従ってきて、霊的未来をみことばで言われる。聖日に安らかな心で霊的力を受ける祈りが始まらなければならない。</p> <p>□序論_比喩</p> <p>1. 誰がより良いのか 1) 金持ちとして生きたが福音を知らずに地獄に行く人 2) 貧しい人として生きたが福音を知って天国に行く人(ラザロ) 3) 金持ちとして生きて天国に行くのが一番良い。</p> <p>2. 本当の祝福(本当の答え) - 伝道と福音運動に用いられる 1) マタ 24:14 この福音が全世界に宣べ伝えられた後に終わりが来る。 2) 使 1:8 地の果てまで証人になる。 3) I ペテ 1:9 信仰の結論はたましいの救い</p> <p>3. 初代教会-この祝福の中に入ってきた 1) パリサイ人の妨害に勝った。 2) ローマの妨害に勝った。 3) 世界が福音化された。</p> <p>□本論_理由-本当の答えである伝道と宣教が祝福になる理由</p> <p>1. 未信者状態-これを解決するのが福音だが、ここに用いられる人が幸い 1) ヨハ 8:44(主人) - 悪の子ども。悪魔のお手伝い。サタンが主人 2) 生活(出 20:1-5) - 誰も教えなかったが生活が偶像崇拜の中にある。 3) 精神(マタ 11:28、マコ 5:1-10) - 疲れて重荷を負い、精神が狂ってしまう。 4) 肉体(使 8:4-8) - 医師が治せない病気になる。 5) 背景(ルカ 16:19-31) - 行かなければならない背景が地獄だ。 6) 次世代(マタ 27:25)</p> <p>△彼らを救い出すことができる人が本当に答えを受ける人だ。</p> <p>2. 永遠の背景-地獄永遠の背景から救い出される祝福を受けた人 1) 過去 2) 今日 3) 未来</p> <p>3. 今 1) 生きている間にだけ福音を伝えることができ、受けることができる 2) 報い-この地にいる間に救いの働きをしたことだけ報いがある。 3) たましいが救われるのも、生きている間だけ可能だ。 △イエス様の比喩は、このことに用いられる者になりなさいというみことばだ。</p> <p>□結論</p> <p>1. 身分、権威、背景が与えられたので、これを握ってずっと祈れば、ある日、力が生じる。聖日だけでも一日中、契約を握って祈りに入って、正しく力を受けなさい。</p> <p>2. どんな-どんな教会を作って、どんな伝道、宣教をすべきか 1) 3 つの庭 2) 237、いやし、サミットの庭 3) 24、25、00-三つの庭を 24 できる神殿を作りなさい。すると、25 の答えが与えられる(神の国のこと)。その力が永遠にあるようにする。</p> <p>3. 産業-産業、学業、職業がここに用いられればよい</p>